

大規模実証実験タスクフォース 「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）自動走行シ ステム／大規模実証実験」のうち「歩行者事故低減」

H29年度プレ検証結果及びH30年度活動成果報告

1. 研究の概要
2. H29年度プレ検証結果
3. H30年度活動成果報告
 - (1)テストコース検証結果
 - (2)実環境（お台場地区）検証速報
4. 今後のスケジュール
(参考資料)



NIPPON KOEI

平成30年12月5日

1. 研究の概要

研究開発の
概要

- **「歩行者事故低減」の課題に対する実証実験の実施**
- ・『歩車間通信技術（V2P）』と『歩行者高精度測位・行動予測技術』
 - ・“相互注意喚起機能”の**基本動作・機能検証(H29)**
 - ・**実交通環境下での織り込み技術の歩行者事故低減有効性を実証(H30)**

実交通環境下での
“注意喚起情報提供”
歩行者事故低減
の有効性を実証



H29 : プレ検証（システム機能検証） ➡ H30 : 本検証（モニタ実証）

1. 研究の概要

- 平成30年度 歩行者事故低減に関連する施策の繋がり

交通事故分析：内閣府（未定）



（追加）歩行者事故の分析&システムポテンシャルの導出

歩車間通信仕様：総務省（Panasonic）



（確認）歩行者事故低減に効果的なシステムと仕様の確立

大規模実証実験：NEDO（日本工営）



（実施）システム有無による行動変容の定量的把握

システムの定性的評価

交通事故シミュレーション：経産省（JARI）

（追加）行動変容に基づいた事故低減効果の算出

（金光歩行者事故低減リーダー システム実用化WG発表資料（H30.4）より）

2. H29年度プレ検証結果

✓ プレ実験は、**支援が必要な場面**と**不要な場面**について公道上で適正動作を検証

(平成30年2月13日～15日；お台場・有明エリア)

当初設定の精度、性能の確保を確認し、『本検証への移行可』と評価

(i) 支援が必要な場面 (5シーン)

正常作動率 (正常作動数/サンプル数)

① 歩行者の単路横断



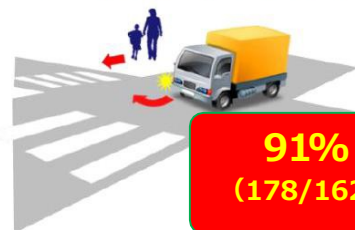
94%
(231/247)

② 見通し外交差点出会い頭



86%
(156/181)

③ 交差点右折 (信号有無両方)



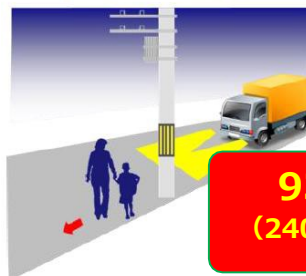
91%
(178/162)

④ 交差点左折 (信号有無両方)



94%
(166/177)

⑤ 歩道のない道路



93%
(240/257)

※右左折は昨年度複数
個所で実施しているう
ちの1か所を示した。

(ii) 支援が不要な場面 (5シーン)

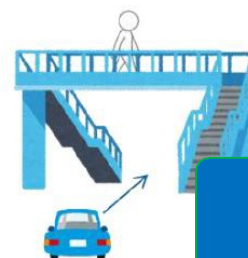
不要作動率 (異常作動数/サンプル数)

① 車両内



1%
(1/132)

③ 歩道橋上



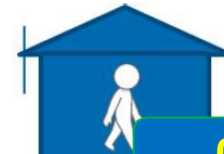
5%
(9/183)

⑤ 高架上下



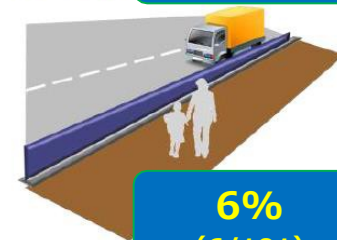
14/0%
(0/984)

② 建物内



0%
(0/118)

④ 歩道



6%
(6/101)